

大会宣言

私たちは、本日、人類史的イベントであるコロナ禍において、第19回定期大会を実施した。新型コロナウイルス感染拡大という事態の中、世界で失業者が爆発的に増加し、労働者の生活と命は危機的な状態に直面している。

この状況に直面し、私たちコミュニティユニオン運動・合同労組運動は、切実な事情を抱えて駆けこむ労働者たちの労働相談を真摯に受け、感染予防のための創意工夫をしながら、団体交渉と団体行動を進め、働く者の雇用と命を守るために闘ってきた。この取り組みは、より一層前進させる必要がある。

困難な諸事情を鑑みても、私たちは、困難を乗り越え、「大同団結」することが必要である。コロナ禍で雇用と命の危機に晒されている労働者を目の前にして、非道な企業を目の前にして、腐敗を重ねてきた政権を目の前にして、世界に広がる権力者と追随者による悪質な差別と収奪と暴力を目の前にして、怒りをもって闘わなければならないからである。

そして、困難な中から培われてきた国内外の仲間達との豊かなネットワークと具体的な闘いが、新たな世代との出会いを生み出しながら、明るく楽しく激しく積み重ねられてきたからである。

さらに、本大会で確認してきたように、コロナを契機とした大きな社会構造の変化＝資本主義の新自由主義的段階における限界と新しい連帯社会への構想が求められているからだ。とくに国内における労働組合組織率低下と企業別組合の限界、益々進行する非正規化・非雇用化・流動化、これを推進する政府財界の労働政策、ナショナルセンター連合の方針と組織改編を前に、労働現場の最前線で日々相談を受け、団体交渉と争議を展開し、職場の組合づくりを進めつつ、政策要求と社会的発信を行ってきた私たちは、大同団結して立ち向かおう。

2020年7月17日

第19回定期大会